

「理想郷・甲賀」の実現へ

— 生涯を通じて生活に幸せを「生活感幸」予算 —

平成25年度の予算が市議会定例会で可決されました。4つの基本方針のもと、総合計画を基本とし、市民の安全・安心を守るインフラの整備、市の未来を担う子どもたちのための福祉・教育の施策に力点を置いて予算を編成しました。その概要や重点的に行う事業などをお知らせします。

施政方針〈要旨〉



甲賀市長
中嶋 武嗣

甲賀市におきましては、これまで、地形的あるいは道路交通環境の優位性を活かした企業誘致を促進し、税収の確保に努めると共に、徹底した行政改革により、事務事業の経費削減や普通建設事業の徹底した進捗管理を行いつつ、プライマリバランスの黒字化を継続するなど、着実に財政健全化を図ってまいりました。

その結果、平成23年度末には、市債残高はピーク時の平成18年度から約83億円を減少させ、財政調整基金については27億7千万円にまで積み増し

したほか、実質公債費比率は14.8%、経常収支比率は83.5%と大幅な改善をみたところであります。

本格的な景気回復基調が表れたとしても、この姿勢は堅守していく必要があり、これまで以上に財政基盤の強化に主眼を置き、「生活感幸」、即ち市民に生涯を通じて生活に幸せを感じてもらえる予算として編成したものであります。働きたくても働けない方たちに対し、学童保育や一時預かりなどの子育て支援や介護支援などの福祉施策を充実しながら、働く機会への橋渡しに努め、市民生活の安心安全を最優先させながら、「理想郷・甲賀」の実現に努めてまいります。

そのために4つのテーマを設け、重点的に施策を推進してまいります。

一つ目の「元氣と安心、みんなを守る甲賀の暮らし」は、万の大規模災害時に備え、インフラ整備や絆づくりを

推進するものです。また、超高齢化・少子化の時代を迎えるなかで、高齢者や障害者等の自立や介護を支えていくとともに、健康づくりの充実を図ることとします。

二つ目の「学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来」では、教育環境の整備や子育て支援はじめ、地域と学校との連携により地域学を取り入れるなど、「子ども応援団」としての役割を果たしてまいります。

三つ目の「創造と交流、進化が生み出す甲賀の活力」では、雇用機会の拡大、産業の振興、交流による賑わいにより地域経済に力を与えてまいります。

四つ目の「魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝」では、地域コミュニティの住民により守り伝えられた歴史や風土など資源の保存と文化力の向上につなげてまいります。

甲賀市予算編成方針

●総合計画の実現を目指した重点的戦略的な財源配分

総合計画に掲げる将来像「人自然 輝きつづける あい甲賀」の実現のため、市民ニーズや経済情勢等を踏まえ、安全・安心な暮らしを目指して4つのテーマに沿った施策を重点事業として位置付け、重点的かつ戦略的に推進してまいります。

- ①元氣と安心、みんなを守る甲賀の暮らし
- ②学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来
- ③創造と交流、進化が生み出す甲賀の活力
- ④魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝

●東日本大震災の経験を踏まえた防災・減災対策等の強化

東日本大震災等の経験を踏まえ、将来を見据えた防災・減災対策、環境・エネルギー対策のより一層の強化を図ります。

●財政健全化にむけた着実な取り組み

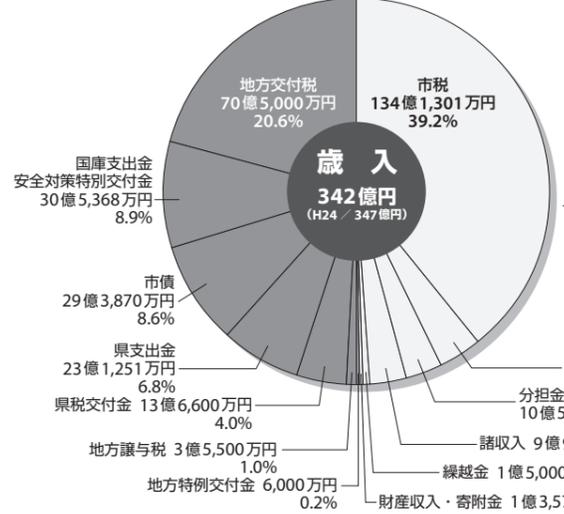
1.「第2次甲賀市行政改革大綱」の改革の視点に基づく行政改革を着実に実行します。

一般会計〈市の基本となる会計〉

平成25年度当初予算

- 一般会計 342億円 (対前年度 △5億円 △1.4%)
- 特別会計 201億8,541万円 (対前年度+7億8,530万円 +4.0%)
- 企業会計 54億5,099万円 (対前年度△3億2,507万円 △5.6%)

■ 依存財源 171億3,589万円 (50.1%)
□ 自主財源 170億6,411万円 (49.9%)



自主財源…市が自主的に収入することができるもの
依存財源…国や県の意思決定に基づき収入されるもの

義務的経費…市の歳出のうち、その支出が任意で削減できない経費
投資的経費…道路・公園・学校の建物など社会資本の整備に要する経費

